



Kurashiki Academic Winds

*The 5th
Regular Concert*

January 19, 1997

Greetings

『ごあいさつ』

明けましておめでとうございます。

本年、1つの節目となる第5回定期演奏会を開催できますことは皆様方共々ご同慶の至りであり、感無量と言わざるを得ません。深く感謝を申し上げる次第でございます。

「心と心のふれあい」「琴線にふれあう感動」をモットーにして、互いが足をしっかり地につけた平素の活動、努力をしております。それを温かく見守って激励して下さる皆様方に厚く御礼を申し上げます。

昨年は当芸文館にての演奏会で又異なった快感を経験しました。こゝ最近、特に昨年の活動に於いて子供から老人に至るまでの各所への慰問演奏会や依頼演奏会等、地域の皆様方と一層心の密着ができましたことは、我々の喜びであり本意とする感動を得ることとなりました。我々はこの感動を脳裡に刻み、皆様の暖かいご支援と期待を心に秘めて、今後一層の精進と活動を続けて行く所存でございますので、倍旧のご支援とご鞭撻をお願い申しあげます。

倉敷アカデミックウインズ団長 平松 正登

『ごあいさつ』

本日はお忙しい中、倉敷アカデミックウインズの定期演奏会にお越し下さいましてありがとうございます。当団も結成5年目を迎え、はや5回目の演奏会を開催することになりました。これもひとえに皆様方の厚い御支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今回の演奏会では第2部にクラシックを採り上げました。この曲はTVコマーシャルにも使われていましたのでご存じの方も多いかも知れませんが、とてもすばらしい大曲です。今回この曲を演奏するに当たって、指揮者を初め、団員は大変な努力をして参りました。それは練習時間に制約を受ける社会人バンドがどこまでできるのか、我々自身試してみたかったからです。正直なところ、御満足いただける演奏は保証できませんが、皆さまの心に残る演奏になるよう団員一同頑張りますので、どうぞ最後までお楽しみ下さい。

最後になりますが、今後とも当団への御指導、御鞭撻をよろしく願いいたします。

時節から、皆さまの御自愛を心よりお祈り申し上げます。

倉敷アカデミックウインズ総務 高見 康彦

Program

First Stage

- マーチ「ザ・ナイン」 ◆ 小長谷宗一
March "The Nine" Soichi Konagaya
- カンタベリー・コラール ◆ J. ヴァン・デル・ロースト
Canterbury Chorale Jan Van der Roost
- サン・サーンスの主題によるセレブレーション ◆ J. カーナウ
SELEBRATION (on a Theme by Saint-Saens) James Curnow

Second Stage

- 交響組曲『シェエラザード』作品 35 ◆ N.A. リムスキー=コルサコフ
SCHEHERAZADE, Op.35 Nicolai Andreyevich Rimsky-Korsakov
Symphonic Suite after "A Thousand and One Nights"

- I. 海とシンドバッドの船 The Sea and Sindbad's Ship
II. カレンダー王子の物語 The Story of the Calender Prince
III. 若い王子と王女 The Young Prince and the Young Princess
IV. バグダッドの祭り～海～船は青銅の騎士のある岩で難破～終曲
Festival at Baghdad - The Sea - The Ship goes to pieces
against a rock surmounted by a bronze warrior (The Shipwreck)

Third Stage

- 「スパイ大作戦」のテーマ ◆ L. シフリン
Mission Impossible Theme Lalo Schifrin
Arranged by Toshio Mashima
- ウィーアーオールアローン ◆ B. スキャッグス
We are all alone Boz Scaggs
Arranged by Kosuke Onozaki
- S M A P メドレー ◆ 庄野賢一・森浩美・林田健司
SMAP Medley K.Shouno, H.Mori, K.Hayashida
- ティコ・ティコ ◆ Z. アブルー
Tico-Tico Zequinha Abreu
Arranged by Naohiro Iwai
- ニューシネマパラダイス ◆ A&E. モリコーネ
Nuovo Cinema Paradiso Andrea Morricone & Ennio Morricone
Arranged by Michiru Ohshima
- ジョン・ウィリアムス イン コンサート ◆ J. ウィリアムス
John Wiliams in Concert John Wiliams
Arranged by Paul Lavender

Program Note

マーチ「ザ・ナイン」

この曲は九州吹奏楽連盟 30 周年を記念して同連盟から委嘱された。「ザ・ナイン」は九州の筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、大隅、薩摩と、ギリシャ神話に登場するゼウスの 9 人の娘たち Calliope (叙事詩), Clio (歴史), Erato (叙情詩), Euterpe (音楽), Melpomene (悲劇), Polyhymnia (宗教詩), Terpsichore (舞踊), Thalia (喜劇), Urania (天文学) を意味する。曲は荘厳なファンファーレに始まり穏やかで陽気なマーチが導かれるが、トリオでは叙情的に演奏するよう指定されている。

カンタベリー・コラール

作曲者であるヴァン・デル・ローストが、チャーサーの「カンタベリー物語」でも有名なカンタベリー大聖堂を訪れた際の印象をもとに書かれた静かな小品。オルガンを思わせる壮大な響きをお楽しみ下さい。

サン・サーンスの主題によるセレブレーション

この曲は交通事故で亡くなったジョージア州ノークロス高校バンドの学生リーダー、マーク・ナニー青年を偲んで同バンドによって委嘱されました。両親の「悲しい曲ではなく、彼の生きた青春を祝福し讃える曲にしてほしい」との願いを受けたカーナウは、マークが特に好きであったサン・サーンスの交響曲第 3 番（これはサン・サーンスが、亡くなったリストを追慕して書いた作品でもある）からテーマをとって「祝典」という名のこの曲を作曲しました。使用されている主題は交響曲の 2 楽章前半部から後半部への移行部分で、これが木管によって静かに呈示されながら曲が始まります。曲は主題を変奏しながら祝典にふさわしく次第に盛り上がり、カーナウ独特の美しい中間部を経たのち、更に激しく展開されます。最後は交響曲の最も有名な旋律（これも主題の変奏）が現れ、荘厳に曲を閉じます。

交響組曲「シェエラザード」

作曲者の N.A. リムスキー＝コルサコフ(1844～1908) は大好評を博した「スペイン奇想曲」の翌年、当時新訳が出版された「千一夜物語 (アラビアンナイト)」をモチーフに、自らの海軍経験を生かしてこの曲を作曲しました。文庫本 10 冊以上にもおよぶこの長編を音楽で表現するにあたって、彼はあえて原作に忠実であることを放棄し抽出した原作のテーマに、彼の得意とする多彩なオーケストレーションを駆使することによって独自のアラビアンナイトの世界を作り上げることに成功したのでした。

【千一夜物語】優しく有能なシャリール国王は、ある日最愛の妃が奴隷と不倫しているのを見て妃の首をはね、正気を失う。それからというもの毎晩処女を連れてこさせては一夜を共にし、翌朝には首をはねる暴君と化してしまう。街にはとうとう娘がいなくなるのだが、大臣の娘シェエラザードは自ら志願して妹のドニアザードと共に宮殿に出向いていく。夜になるとシェエラザードは王におもしろい物語を一晚中聴かせ、朝になると話の途中で口をつぐんだ。そのため王は続きを聴くために彼女を殺すのを 1 日、また 1 日とのぼしていくのだった。ここでされるのが「アラジンと魔法のランプ」「アリババと 40 人の盗賊」などの有名な物語である。やがて、千夜もの時が過ぎるうちに、王の凍りついた心は次第に安らかになっていく。最後はシャリールとシェエラザード、王の弟とドニアザードの 2 組の盛大な結婚式で幕を閉じる。

第 1 楽章 海とシンドバッドの船

冒頭に恐ろしいシャリール王の主題が示される。続いてフルートによって賢く美しいシェエラザードが物語を語り出す様子が描かれる。「船乗りシンドバッドの冒険」である。順風満帆の航海、嵐の海、象さえ持ち上げるといふ巨大な怪鳥ロクの襲来など、シンドバッドの 7 つの航海がシャリールとシェエラザードの 2 つの主題の変奏によって見事に表現される。

第 2 楽章 カレンダー王子の物語

再びフルートによってシェエラザードが描かれる。今夜の話はひょうきんなカレンダー王子の物語。シャリール王は彼女の話に大笑いしたり、身を乗り出して真剣に聴いたりするうちに次第に彼女を身近に感じ始める。

Program Note

第3楽章 若い王子と王女

カマル・アル・ザ・マーン（新月から満月までの月）王子とブドゥル（満月）王女の愛の物語。王子と王女の話にのせて、シャリアール王とシェエラザードの間に芽生えた愛が熟していく様子が描かれる。

第4楽章 バグダッドの祭り～海～船は青銅の騎士のある岩で難破～終曲

まるで夫婦喧嘩でもしているようにシャリアールの主題とシェエラザードの主題が現れる。喧嘩するほど仲が良い？

シェエラザードが始めた今夜の話はバグダッドの祭り。これまで物語に登場したカレンダー王子やカマル王子、ブドゥル姫も現れて祭りは盛り上がるが、やがて不吉な航海の話になる。というも目前にある青銅の騎士の建っている岩には強力な磁力があり、船をくいくいと引き寄せているのだ。次第に船は岩へと流されていき、ついにぶつかって粉々になってしまう・・・今夜の話はここでおしまい。

しかし第1楽章冒頭の激しかったシャリアールの主題は今、穏やかで優しい旋律となってシェエラザードの主題とからみ合う。曲はやがて来る幸せを予感させるように静かに幕を閉じる。

スパイ大作戦のテーマ

「おはようフェルプス君、今回の任務は・・・なおこのテープは自動的に消滅する」で有名な、ごそんじ『スパイ大作戦』のテーマ曲です。昨年トム・クルーズ主演で『ミッション・インポッシブル』としてリメイクされました。

ウィーアーオールアローン

1977年にヒットしたボズ・スキャッグスのバラード。曲の美しさに加えて、「僕たちは2人きりさ」というロマンティックな意味と「僕らはみんな孤独なのさ」とどちらにも取れる原題が話題を呼びました。決してかんだ曲でなく、軽く口ずさむような愛らしいメロディーがフルートのデュエットで始まり、2回の転調を伴いながら各楽器セクションのかけあいで全編をやさしく包みます。

ティコ・ティコ

思わず踊りたくなるような軽快なサンバ。ラテンアメリカ音楽の王者、ザビア・クガー楽団やハモンド・オルガンの女王、エセル・スミスによる演奏で大ヒットしたラテン・ナンバーです。

ニューシネマパラダイス

1989年に公開されたイタリア映画『ニューシネマパラダイス』のメドレーです。シチリア島の小さな町にある映画館「パラダイス劇場」の映写技師アルフレードとかわりながら少年トトが成長していく姿が描かれ、成人して映画監督になったトトがアルフレードの遺したフィルムを見るラストシーンが感動を呼びました。

ジョン・ウィリアムス イン コンサート

J.ウィリアムスは主に映画音楽の作曲を手がけている1932年ニューヨーク生まれの作曲家です。最近では、『ホーム・アローン』のかわいい曲や『ジュラシックパーク』などにみられる現代音楽風の作曲で彼の才能の幅広さが話題となっていますが、このメドレーは「いかにもJ.ウィリアムス!」といったメロディーを集めた楽しい曲です。

彼がアカデミー作曲賞を受賞した「E.T.のテーマ」に始まり、米NBC放送のニュース主題曲「ミッションのテーマ」、『スター・ウォーズ帝国の逆襲』より「帝国軍のマーチ（ダースベイダーのテーマ）」、『スター・ウォーズ』より酒場で流れる「カンティナ・バンド」、ソウル五輪のテーマ曲「オリンピック・スピリット」、スピルバーグ監督のパニック映画『ジョーズ』よりこれもアカデミー賞を受賞した「ジョーズのテーマ」と続き、再び「E.T.のテーマ」に戻って宇宙のように壮大に終わります。J.ウィリアムスの世界を存分に楽しみ下さい。

The List of Members

FLUTES & PICCOLOS

遠藤多珠子 岡田 敏枝 岡田 正美 近藤 昭子 塩津 恵
高藤 敏子 野中 友雄※ 堀内 研吾 松井 直美 弓場 祥彰

OBOE

佐口 康晴☆

B^b CLARINETS

安宅 忠司 飯島 里枝 伊藤 麻樹 岡本美津子 奥田美穂子
小野由紀子 国富 美子 児新 綾 水川かおり 森 久仁江
渡辺 恭子

BASS CLARINET

渡辺 順子

ALTO SAXOPHONES

尾関 祐里 藤田 裕子 片山 謙吾☆

TENOR SAXOPHONE

荻田 朋子

BARITONE SAXOPHONE

中川 國暉☆ 吉本 雅夫

HORNS

川内美由紀 岩田 俊哉☆ 田辺 綾歌☆ 藤山 秀司☆ 山口 勝之☆
河手 道浩 永野 真弓

TRUMPETS & CORNETS

遠藤 博子 林 園子 藤原 裕之※ 藤原美由希 藤原 靖彦
森本久美子 柳井 理夏 渡邊 浩治

TROMBONES

岡本 国芳 小原 則行 西郷 和博 佐藤 直道 高見 康彦
安原久美子

EUPHONIUMS

市場 美雄 大原康次郎 小郷真由美 佐藤 裕史

TUBAS

矢尾 哲平 福田 典昭☆

DRUMS & PERCUSSION

板谷 淳子 今川真由美 森本 将光 石井いづみ☆ 小野 裕幸☆
白川 和正☆

※指揮 ☆賛助

ごいっしょに吹奏楽しませんか？

倉敷アカデミックウインズでは、ただいま団員を募集しております。学生時代に吹奏楽を経験された方でその後も演奏活動を続けていきたいと思われる方、ぜひ一度見学にいらしてください。

技術も伝統もまだまだこれからというバンドですが、私たちと一緒に楽しみませんか？

詳しくは倉敷アカデミックウインズ事務局 080-997-8649 までご連絡下さい。